

ヴェルボトナル研究所 2019 年度 活動報告

関東短期大学ヴェルボトナル言語教育研究所の主な活動は聴覚言語障害児を対象とした聴き取り指導、発音指導、言語指導である。また指導法の研究とヴェルボトナル理論と技法の普及を目指している。

1. 指導活動

指導は館林市（研究所）、仙台市（仙台市福祉プラザ）、渋谷区広尾（児童発達支援施設）で実施した。

活動場所	生徒数	生徒年令	指導頻度
館林 (研究所)	9名	6歳～21歳	週1回～月1回 ※生徒のレベルによる
仙台 (仙台市福祉プラザ)	6名	7歳～15歳	年2回 ※指導相談会
広尾 (児童発達支援施設)	8名	5歳～12歳	月2回 ※指導相談会

2. 指導法研究

研究会を5月に1回（参加者3名）、特別研究会を1月に1回（参加者22名）開催した。VT理論、指導教材の学びとともに、聴覚と視覚と脳の関係などについて学んだ。

3. 普及活動

主に広尾の児童発達支援施設を通して行った。

以上